

第7回議会報告会 報告書

地域名	出合地区		
年月日	平成24年5月14日	会場名	出合コミュニティーセンター
開始時間	午後7時30分	終了時間	午後9時20分
参加数	男 12 人	女 0 人	合計 12 人
班 長	瀬原達夫	司会者	
報告者		書記	
班員名	瀬原達夫、藤原敏憲、寺田耕司、田村和也		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>(1) 地域自治組織包括交付金の総額、現在の交付状況、財源の内訳は。</p> <p>(2) 民間企業の経営が厳しい中、議員報酬の見直しがされたが、時期を考えるべきだったのでは。</p> <p>(3) 平成24年度の予算特別委員会報告で、市道葛畑大久保線の工事予算が計上されていないので早急に予算化されたいとあるが、「しかくら口」の市道と県道の交差点周辺の改修工事のほうが交流人口150万人を目指す養父市にとっては安全性の観点からも重要ではないか。小路頃だけではないが、除雪時における除雪方法やガードレール修理は誰の責任で修理改修を行うのか。</p>	<p>(1) 交付金は、全協議会が設立されれば約1億円が必要となる。現在12協議会に総額6,200万円が交付されている。財源は市債で3,000万円、残りは一般会計から支出する。</p> <p>(2) 議会で各種団体や市民の声を聞くなどの調査を行った。最終的には議員提案で可決となった。</p> <p>(3) 交差点周辺の改修は議会としては議論していない。要望として聞いておくが、県と協議をするべきべきだと思う。民家が密集している地区の除雪対策を協議するよう当局に申し入れる。除雪時の破損は市の責任で改修する。</p>	
意見交換会での質疑	<p>(1) 鵜縄地区の西部水道水源周辺の災害復旧は、過去の対策と変わっているように思う。一度調査をしてほしい。</p> <p>(2) 滞納金の総額と収納対策室の効果は。</p> <p>(3) 5/14夕刻、東日本の「震災がれき」受け入れについてTVで報道されていたが、市の対応は。</p> <p>(4) 関宮中学校特別教室の耐震化で、補強から新築に変更された経緯は。</p>	<p>(1) 現地調査を行い、必要があれば当局と協議を行うよう申し入れする。</p> <p>(2) 滞納の総額は平成22年度決算で約6億3千万円。滞納整理に向け努力しているが、現状はなかなか難しい。収納対策室の役割は果たしている。</p> <p>(3) 市(市長)に早急に確認する。 (後日回答) 市は現在検討中である。</p> <p>(4) 特別教室は木造であり、耐震化のためにRC工法で新築する計画に変えた。</p>	

意見交換会での質疑	<p>(5) 現在4施設ある給食センターを統合した施設を建設する計画だが、概要と旧町にある4施設の跡地利用は検討されているのか。</p> <p>(6) 朝来市に新しい病院が建設されると聞いたが、ますます八鹿病院の経営は苦しくなると思う。医師不足の対応は。</p>	<p>(5) 旧養父町の小城、上箇両地区にまたがる県貯木場跡地に平成24年で計画、平成25年にドライ方式で建設する計画である。旧施設の跡地利用はまだ計画していない。</p> <p>(6) 八鹿病院の医師不足は深刻であり、養父市、八鹿病院としても医師確保には努力しているが、現状は厳しい。</p>
その他(提言など)		
備考(今後の改善点等)		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成24年6月4日

報告者 3班 班長 瀬原 達夫

